

阪神・淡路大震災30年特別展

西田真人 日本画展

—再生の祈りをこめて—



《黒いアーケード》1995年 紙本着色 京都国立近代美術館蔵



日本芸術院賞受賞《廻る》2024年 綿本着色 個人蔵

2025年

7月19日[土]—9月15日[月・祝]

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／毎週月曜日(ただし7月21日、8月11日、9月15日は開館)、7月22日、8月12日

入館料／一般1,300円(1,100円)、大学生650円(550円)、高校生以下無料

▶()内は20名以上の団体 ▶神戸市在住の65歳以上の方は、年齢が証明できるものを提示いただくと650円 ▶大学生・高校生は学生証、
乗換手帳などをご提示ください ▶障がい者手帳またはスマートフォンアプリ「ステイロ1D」などの提示で無料

主催／神戸ゆかりの美術館、神戸新聞社 共催／神戸ファッション美術館

後援／サンテレビジョン、ラジオ関西 協賛／敬愛まちづくり財団

《輝く街》1999年 紙本着色 神戸ゆかりの美術館蔵



神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1 TEL: 078-858-1520



阪神・淡路大震災30年特別展

西田真人 日本画展

—再生の祈りをこめて—



《THEATER》1986年 個人蔵



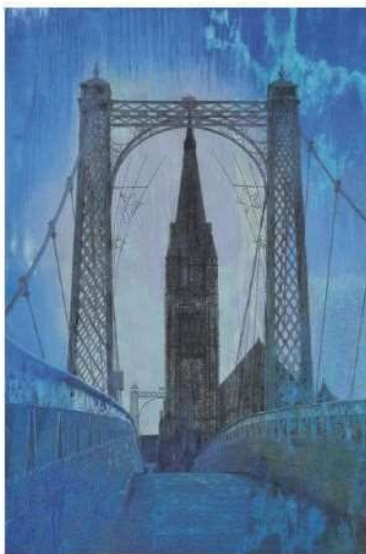
《水光》2007年 京都市立芸術大学芸術資料館蔵

神戸が生んだ気鋭の日本画家、西田真人(にしだまさと)の画業を振り返るとともに、阪神・淡路大震災に取材した諸作品を紹介する展覧会を開催します。

西田真人は、1952年、神戸市兵庫区に生まれました。京都市立芸術大学美術学部日本画科を卒業後、数々の受賞を重ね、実力と評価を高めていきます。2008年から京都市立芸術大学教授をつとめ、現在は大阪芸術大学客員教授、日展特別会員の地位にあります。

阪神・淡路大震災が発生し、神戸の画家としての使命感に突き動かされて、倒壊し火災によつて廃墟と化した神戸の街をスケッチし、作品に仕上げました。この一連の作品の評価は高く、1995年の《黒いアイケド》が日展特選、文化庁買い上げの栄誉となり、1997年《更地》は、第14回山種美術館賞優秀賞を受賞しました。さらに西田は復興をはたしたその後の美しい神戸の街景色を描き、10回におよぶ渡英でイギリスの風景に取り組み、画業を深化させていきます。また、近年では、全国の「一の宮」を訪ね作品にすることをライフワークとして手がけ、さらに日展で《懐》(2023年)が内閣総理大臣賞、《祠る》(2024年)が日本芸術院賞の栄誉に輝き、日本を代表する画家のひとつとして歩み続けています。

本展は、震災から30年の節目となる年に、震災、イギリス、そして一の宮を描く西田真人の画業を通して、作者がひとつひとつの作品にこめた「再生の祈り」を感じていただくという試みです。



《懐》2023年 個人蔵



《双》2016年 個人蔵



《美和》2019年 敬愛まちづくり財団蔵



《白い壁》1996年 神戸市立博物館蔵

関連イベント

◆ 対談『西田真人自作を語る』

聞き手：岡 泰正(神戸ゆかりの美術館 館長)

日時：2025年7月20日(日)午後2時～午後3時30分(予定)

会場：神戸ファッション美術館 4階第1セミナー室

定員：90名(当日先着順)

参加費：無料 ※当日使用できる観覧券が必要です。

◆ 作家によるギャラリートーク

日時：2025年8月2日(土)午後2時～午後3時(予定)

会場：当館 展示室(受付にお集まりください)

定員：30名程度(当日先着順)

参加費：無料 ※当日使用できる観覧券が必要です。

◇ 赤ちゃんと一緒に美術館へ行こう！

会期中の毎週木曜日、赤ちゃんと一緒にご来館の方は全員割引料金(団体料金)でご入館いただけます。

アクセス

◆ 電車

JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」乗り換え、六甲ライナー「アイランドセンター駅」下車南東すぐ

◆ バス

阪急「御影駅」南側から、みなと観光バス131系統で「アジアワンセンター」下車南へ徒歩3分

◆ 車

阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプより約3分
阪神高速神戸線「魚崎」「摩耶」ランプより約10分

※車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください(提携駐車場はございません)。

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1
TEL: 078-858-1520 FAX: 078-858-1522



神戸ゆかりの美術館
KOBE ARTISTS MUSEUM

